

知多市の皆さん、こんにちは

日本では梅雨も明け、いよいよ暑さが本格的になってきた頃でしょうか。蝉の鳴き声、子どもたちがプールではしゃぐ音、風鈴の爽やかな音色…。日本にいたときは、身のまわりのいろいろなことが夏の訪れを感じさせてくれたことを思い出します。カタルでは、4月から40℃を超える暑さで、「夏が始まるぞ!」という感覚はあまりありませんが、ひとつちょっとした変化を感じます。それは、カタルから人が減ったこと。カタルに住む人の多くは、サマーバケーションで避暑地に出てしまったり、ふるさとの国へ帰ってしまったりするのです。

ドーハ日本人学校の子どもたちも、無事に1学期を終えて、夏休みを迎えました。今月のカタル通信では、**ドーハ日本人学校の紹介～パート2～**をお伝えします。

1 仲間がもっと増えるといいな!!



現在、ドーハ日本人学校の生徒数は11人です。4月よりも少し仲間が増えました。仲間が増えるたび、みんなが思いやりをもち寄ってあたたかく接するその姿には、思わず胸が熱くなります。しかし、広い教室に机が2つ…広い講堂に11人…という風景は、まだまだ寂しい感じもします。これからどんどん仲間が増えて、もっともっと活気あふれる学校になるといいなと願っています。

2 暑さに負けるな! みんなで体力アップ



ドーハ日本人学校には、厳しい気候のため、外で遊んだり運動したりすることが難しい

という現状があります。しかし、ここカタルでたくましく生きる力を身につけるには、普段の体力づくりがかかせません。そこで、体育館（ホール）を使った体力づくりに日常的に取り組んでいます。放課には、大縄跳び、こおり鬼、バドミントンなどをして遊んでいます。また、体育の授業でも、準備運動に毎回ランニングや筋力トレーニングを取り入れるなど、運動量の確保に努めています。放課の遊びには先生たちも参加して、和気あいあいとした雰囲気です。子どもたちも先生も、一緒に体力アップを目指します！

3 ひとりひとりの活躍が光ります



前述したように、まだまだ人数の少ない本校ですが、少人数教育ならではの良さというのがたくさんあります。この写真は、調べ学習の発表会。人の前に立ち、自分の考えや調べたことを堂々と発表する様子です。この他にも、委員会の提案、集会での言葉、毎日の授業の発表など、日常的にひとりひとりの活躍の場が確保されています。初めは、「みんなの前で話すのは苦手…」と言っていた子も、今では大きな声で堂々と発表できるようになってきました。これからも、一人一人の活躍の場をたくさん設けて、力量アップを図ります。

4 日本の季節行事・七夕集会 in ドーハ



先日、生徒会主催で「七夕集会」を行いました！竹が手に入らないため、模造紙に貼り絵で竹を表現しました。ちょっぴりよくばって、一人2枚の短冊を書きました。願い事の中で一番多かったのは…「ドーハ日本人学校の仲間が増えますように」。

子どもたちの願い事が叶いますように！次回の第4号は「ドーハの街なみ」をテーマにお届けします。お楽しみに！

